

公益財団法人 循環器病研究振興財団
平成 28 年度事業計画書

【1】助成事業

(123,615 千円)

1. 公募研究助成

(11,000 千円)

	助 成 名	研 究 テ ー マ	助 成 金 額
1	バイエル循環器病研究助成	生活習慣病と血液凝固	@5,000 千円×1 課題=5,000 千円 @2,500 千円×2 課題=5,000 千円
2	循環器疾患看護研究助成	循環器疾患看護	@200 千円×5 課題=1,000 千円

2. 指定研究助成

(108,615 千円)

(個別研究)

	研 究 課 題	研究代表者	所属機関・職名	助成金額
1	血管病変の早期診断治療における画像処理情報技術の向上に関する研究	飯田秀博	国立循環器病研究センター研究所 画像診断医学部 部長	(継続) 1,000 千円 H31 終了予定
2	メタボリックシンドロームの動脈硬化症の発症・進展に及ぼす影響に関する基礎的、臨床的研究	宮本恵宏	国立循環器病研究センター 予防健診部 部長	(継続) 5,000 千円 H30 終了予定
3	和食の脳保護・脳精神機能改善、及び、肥満・糖脂質代謝へ与える効果の検討	柳本広二	国立循環器病研究センター研究所 分子病態部疾患分子研究室 室長	(継続) 3,000 千円 H29 終了予定
4	心房細動を合併する僧帽弁弁膜症患者に対する低侵襲手術の臨床試験	小林順二郎	国立循環器病研究センター 副院長	(継続) 3,405 千円 H28 終了予定
5	大動脈手術に関する感染症の検討	湊谷謙司	国立循環器病研究センター 心臓血管外科部門血管外科 部長	(継続) 4,110 千円 H28 終了予定

(多施設共同研究)

	研 究 課 題	研究代表者	所属機関・職名	助成金額
6	電子血圧計を用いた客観的な高血圧治療に関する研究 (HOMED-BP)	今井 潤	東北大学大学院薬学研究科 医薬開発構想寄附講座 教授	(継続) 1,550 千円 H28 終了予定
7	虚血性心疾患における心電図同期 SPECT (QGS) 検査に関する国内臨床データベース作成のための調査研究 (J-ACCESS)	西村恒彦	京都府立医科大学 特任 (名誉) 教授	(継続) 28,500 千円 H29 終了予定
8	本邦における低用量アスピリンによる上部消化管合併症に関する調査研究 (MAGIC 研究) 一筋梗塞、脳梗塞患者などの動脈血栓塞栓性疾患を対象として	池田康夫	早稲田大学理工学術院 先進理工学部生命医科学科 教授	(継続) 5,000 千円 H29 終了予定
9	急性脳血管症候群登録観察研究 (ACVS registry Study)	内山真一郎	山王病院・山王メディカルセンター 脳血管センター長	(継続) 31,515 千円 H29 終了予定
10	急性期脳出血への降圧を検討する第Ⅲ相国際多施設共同無作為化臨床試験 (ATACH-II)	豊田一則	国立循環器病研究センター 脳血管部門脳血管内科 部長	(継続) 14,140 千円 H29 終了予定

	研究課題	研究代表者	所属機関・職名	助成金額
11	様々な心血管疾患における酸化ストレスの関与に関する基礎および包括的大規模臨床検討	小川久雄	一般財団法人熊本循環器学会 理事長	(継続) 3,675千円 H28終了予定
12	アログリプチンによる糖尿病大血管症の進展抑制効果の検討 Extension Study (SPEAD-A)	綿田裕孝	順天堂大学医学部 内科学代謝内分泌学講座 教授	(継続) 4,010千円 H33終了予定
13	シタグリプチンによる糖尿病大血管症の進展抑制効果の検討 Extension Study (SPIKE study)	綿田裕孝	順天堂大学医学部 内科学代謝内分泌学講座 教授	(継続) 3,710千円 H34終了予定

3. 研究者・研修者助成

(4,000千円)

	助成名	助成内容	助成金額
1	国内外研修派遣助成	国内外において実施される効率的な研修に派遣される医療技術者に対する助成	2,000千円
2	国際協同研究等派遣助成	海外で開催される学会・協同研究等に派遣される研究者に対する助成	2,000千円

【2】普及支援事業

(17,651千円)

1. 研究業績発表

(2,190千円)

(1) 研究業績集の発行

(160千円)

前年度に実施した研究助成（指定研究助成・循環器疾患看護研究助成）の研究成果をまとめ、国立病院・大学・研究所等へ配布する。

(2) 研究発表会の開催

(2,030千円)

研究発表会を開催し、前年度に実施した研究助成の研究成果を発表する。

- ①「バイエル循環器病研究助成」研究発表会
- ②「循環器疾患看護研究助成」研究発表会
- ③「日本光電循環器病研究助成」研究発表会

2. 学術活動支援

(4,750千円)

循環器病に関する小規模研究、セミナー等に対する支援

3. 移植医療支援

(2,000千円)

循環器疾患に関する移植医療の円滑な実施のための支援（アグネス基金）

4. 予防啓発活動

(8,711 千円)

(1) 小冊子

(8,201 千円)

『知っておきたい循環器病あれこれ』の刊行

循環器病予防啓発の小冊子を奇数月にそれぞれ1万部発行し、国立循環器病研究センター、健康保険組合、講演会などで一般市民に配布

(「知っておきたい循環器病あれこれ」発行予定表)

	タイトル(仮題)	執筆者		発行予定日
116	大動脈瘤の治療	湊谷謙司	国立循環器病研究センター 心臓血管外科部門血管外科・部長	平成28年5月1日
117	もやもや病	高橋 淳	国立循環器病研究センター 脳神経外科・部長	平成28年7月1日
118	かるしおレシピ	高木洋子	国立宇多野病院 栄養士	平成28年9月1日
119	成人の先天性心疾患	白石 公	国立循環器病研究センター 小児科・部長	平成28年11月1日
120	薬と食事の関係	栗原 健	国立循環器病研究センター 薬剤部・部長	平成29年1月1日
121	胸の痛み	安田 聡	国立循環器病研究センター 副院長	平成29年3月1日

(2) 機関誌『季報』の発行

(170 千円)

循環器病に関する情報の提供、財団の情報公開など

(3) ホームページサービス事業 (<http://www.jcvrf.jp/>)

(200 千円)

循環器病に関する情報の提供、財団の情報公開、助成事業の公募など

(4) 市民講座

(140 千円)

疾患ごとにテーマを決めて、一般市民を対象に循環器病予防に関する知識の普及および啓発のために講座を開催

(5) キャンペーン

阪神甲子園球場において財団PRと予防啓発

(6) 共催名義使用

①第19回脳卒中市民シンポジウムおよび平成28年度脳卒中週間ポスター事業

[主催] 公益社団法人日本脳卒中協会

【3】国庫補助金事業（特別会計Ⅰ）

（8,550千円）

（厚生労働科学研究推進事業費／循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策政策研究推進事業）

	事業区分	予算額	積算内訳
1	若手研究者育成活用事業	3,633千円	リサーチレジデント1名
2	研究成果等普及啓発事業	4,917千円	研究者向け研究発表会・一般向け研究発表会

【4】調査研究事業

（1,091,100千円）

（683,100千円）

	研究課題	研究代表者	所属機関・職名	事業費
1	安定型冠動脈疾患を合併する非弁膜症性心房細動患者におけるリバーロキサパン単剤療法に関する臨床研究（AFIRE）	小川久雄	公益財団法人循環器病研究振興財団研究・技術開発助成選考委員／国立循環器病研究センター・理事長	（継続） 225,000千円 H30終了予定
2	実地医家を対象とした非弁膜症性心房細動患者の脳卒中および全身性塞栓症に対するリバーロキサパンの有効性と安全性に関する登録観察研究（GENERAL）	小川久雄	公益財団法人循環器病研究振興財団研究・技術開発助成選考委員／国立循環器病研究センター・理事長	（新規） 374,200千円 H31終了予定
3	日本における急性心筋梗塞患者の治療および予後の実態調査（JAMIR）	安田 聡	国立循環器病研究センター 副院長	（新規） 83,900千円 H31終了予定

（受託契約研究助成から調査研究事業に区分変更分）

（408,000千円）

	研究課題	研究代表者	所属機関・職名	事業費
4	アジア人における慢性心不全患者の心臓突然死発生率および危険因子に関する疫学的臨床研究（ASIAN-HF）	清水 渉	日本医科大学 内科学 主任教授	（継続） 7,300千円 H30終了予定
5	脳梗塞再発高リスク患者を対象とした抗血小板薬併用療法の有効性及び安全性の検討（CSPS.com）	山口武典	国立循環器病研究センター 名誉総長	（継続） 260,700千円 H30終了予定
6	非弁膜症性心房細動患者の急性脳梗塞/TIAにおけるリバーロキサパンの投与開始時期に関する観察研究（RELAXED）	峰松一夫	循環器病研究振興財団研究・技術開発助成選考委員会・選考委員／国立循環器病研究センター・副院長	（継続） 131,300千円 H29終了予定
7	定量SPECT機能画像計算パッケージの医療機器化と一般病院への提供支援	飯田秀博	国立循環器病研究センター研究所 画像診断医学部 部長	（継続） 8,700千円 H28終了予定

（注）4～7の研究は、従前、助成事業の受託契約研究助成に区分していたが、これらは受託契約による研究であるものの、研究者への助成を目的とする事業ではないことから、前期より財団の自主事業である調査研究事業に区分を変更したものである。

※事業収入の収益認識基準について

- 1) 調査研究事業は、研究の終了（報告書の提出）をもって収益及び費用を認識する基準を適用している。そのため、研究が完了するまでの収入は「調査研究事業前受金」、支出は「未成調査研究事業支出金」として計上している。
- 2) 但し、前期に受託契約研究助成から調査研究事業に区分変更した事業については、期間実績の比較可能性を確保するため、受託研究の進捗に応じて収益を認識する、従前の収益認識基準を継続して適用している。そのため、未実施の研究事業に対応する収入は、「受託研究前受金」に計上している。なお、当期末における進捗度の見積もりは、原価比例法によっている。